

総合資格

約800人参加し合格祝賀会

建築士試験の受験指導校（総合資格学院）を運営する総合資格（東京都新宿区、または、今このときから資格者としての人生がスタート）は9日、11年者として、建築士の新人に注文を付けた。

修了証授与式では、宅建、2級建築士、1級建築士の合格者を代表して、吉祥寺校の後藤洋平さんなど6人

度合格祝賀会を東京都新宿区のハイアットリージェンシー東京で、合格者など約800人を集めて盛大に行った。祝賀会では、開会に当たり岸社長が「合格者の皆さん、活躍されることを期待する」と、祝辞を述べた。この後、来賓あいさつで建築家の伊東豊雄氏は、自身が建築士試験を3度受験したエピソードを話した後で、「建築士としてでなく、人間として建築をどう向き合つか、また、大きなスケールで建築を捉えるように



合格者を集めて記念撮影



祝辞を述べる伊東氏

に、岸社長から表彰状が授与された。後藤さんは「つい1年だったが、それを乗り越えられたことは今は貴重な財産」と喜びを語った。同学院は、11年度の1級建築士試験で、開校して36都道府県の全合格者の半数を超える51・7%の占有率を達成した。特に東日本大震災に見舞われた宮城県では、71・4%の占有率を達成するなど、指導体制の強化が奏功した。